



秋田県立養護学校天王みどり学園 研究だより NO.2

平成27年9月25日 発行

# ippo(いっぽ)

本号では、中学部3年生の生活単元学習「開店！！スマイルベーカリー ～シーズンI～」の研究授業について、ワーキンググループの取組や協議会における話題について紹介します。

【平成27年度 研究主題】

キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程の編成

～児童生徒がやりがいと手応えを感じる授業づくりを通して～

(1年次/2か年)

中学部で目指す姿 「目標に向かって仲間と共にやり遂げる姿」

中学部3年 研究授業 **ワーキンググループ：中学部2年、中学部3年、高等部**

## ① 事前ミーティング【授業者より】

今年度の学年目標 **（誰かに思いを）伝える・（それに）応える**

この目標を実現する手段として、**パン屋**をテーマにした

⇒少し難しいが、少し頑張ればできそう！（やりがいと手応え）

多様な活動が設定できる

個々の得意・不得意に応じて互いに協力できる



### 3年間を見据えた生活単元学習の取組

1年「弁当屋」・・・自分のことは自分で・みんなと一緒に取り組む

2年「からあげ屋」・・・一人一人が活動に没頭する・最後までやり遂げる

3年「パン屋」・・・伝える-応える・関わり合って1つのゴールに向かう

### 今後の展望

・学部の友達に食べてもらう

・校内販売会を行う

・高等部作業班と連携を図る（食品加工班のジャムを使ったパン作り・喫茶のメニュー等）

・地域の方々へ販売する

本物の体験を！

## ② 研究授業



一人一人の役割や、今日気を付けるポイントを確認する。  
みんなで「開店！スマイルベーカリー！」

ウイナーパンを成型する A 君。伸ばした生地  
の長さ確かめながら、一人で作業を進める。

1 個仕上がる度に、「〇個目できました！」と元気に報告。

## ③ 研究協議

### 【本時の授業について】

単元の導入期なので、まずは自分の役割である活動に没頭し、自信がもてるようになることが大事。その過程を経て、関わりの必然性が出てくるのではないか。

一人一人が自分の役割を理解し、長時間作業に集中して取り組んでいた。活動量の確保、教材の更なる改善が必要なところもある。



### 【今年度の中学部の生活単元学習について】

- 1 年・・・自分たちで楽しめることを企画・実行  
来年度入学する 6 年生を楽しませる企画  
近隣の高齢者施設の方々を楽しませる企画  
経験を生かして、活動を広げていく
- 2 年・・・みどりっこ夏まつりで行った「わなげ屋」の経験を生かし、更に発展させながら、他者に喜んでもらう・楽しんでもらう企画

生活単元学習の柱を、学年進行で積み上げていくという流れと共に、**1 年間の授業づくりの中で広がり**をもたせていくという両輪で考えていくことが大切だ。

### 【高等部で大切に思うこと】

- ・生徒同士で企画をして楽しむ単元を行っている。企画の際には、仲間を思いやって話し合いを進める姿が見られるようになった。**関わり合う力**・**自分から発信する力**が大事だと感じる。
- ・卒業後の生活を見据えると、調理活動をとっても、身支度や後片付けなど、改めて**生活する力**・**自分のことは自分です**という意識が大事だと感じる。

### 【キャリア教育全体計画について】

- ・本時の中で、困った状況を伝えることが難しかった生徒がいた。社会生活を見据えると、**自ら支援を求める発信力**が必ず必要になる。高等部になってからではなく、小・中学部からの働きかける力・伝える力の育成において意識することが大事である。